

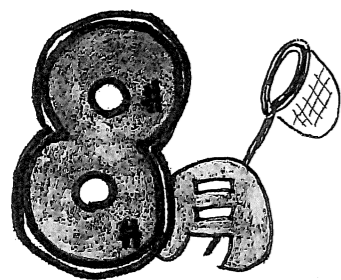
月刊

利根日石新聞

2009年11月7日創刊 令和2年8月号

第000131号

発行 利根日石株式会社 TEL: 0278-24-1635
本社販売管理課 FAX: 0278-23-7980



雨の降り続く7月でしたね。過去最も雨の日が多い月となりました。日照不足も重なり野菜も腐り価格が値上りしたり、各地で雨による災害も起りました。8月はどうか「夏」を過ごしたいものです。

今回のコロナの影響で様々な大会が中止となってしまった中……

高校野球が代替大会として、群馬県大会を7/18~21の間で開催されます。高校球児の夢、甲子園大会は残念ながら中止ですが、県で二の大会を開催されることに感謝の気持ち一杯です！何故、三男の息子達の世代で二のような事が起きてしまったのか、とても悲しいです。監督からの保護者へのメッセージの中で……『普段、野球をやるのが当たり前、いつも近くに仲間がいるという事は当たり前でよく感謝は出来なないけれど子供たちは感じたと思います。しかし長い休校明け戻った子供たちは悔しさや虚しさはありながらも、それ以上にグラウンドで野球が出来る、仲間と一緒に野球が出来る喜びが体からにじみ出てきていると感じ、自分自身が救われる想いでした。我々を支えていただいている全ての大人に元気・勇気・感動を伝えられる大会にします。』保護者感無量！息子よ！この大会で野球が出来るありがたさを感謝して優勝を狙い思いっきりプレイしてほしい！！
※群馬テレビ検索で 見逃し配信もやってます！

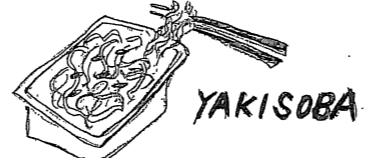


Twitterからの防災アイデアもピックアップした雑誌をみていたら、

ほんとに関心深かったものを紹介します。

『水でもできるカップ焼きそば』

水で作るなんて、思いもせませんでした。災害時を想定し、カップに注ぐ水の量を少なめにし、(麺が隠れる程度です) 20分待ちます。00時間長めなんです。液体ソースをからめて完成。注いだ水が少なければ、湯きりで流す水の量は少なくて済みます。麺の固さと味はバツリ！との事でした。一度ためてみたいです。他に「水でもできる袋麺」も紹介されていました。食器を使わずに済むように水を袋麺へ直に注いで、そのまま実食。こちらは麺がほぐれる間約15分。袋が倒れないように支える工夫が必要になってしまいますが、お皿は使わないので、洗い物も不要です。



コロナ禍で感じる「あいまいな喪失」

毎年、この時季になると聞かえていたお雛子の練習が無いせいからなのか、それとも観測史上、まれにみる長い梅雨のせいなのか、夏を感じることなく8月を迎えようとしています。先月号に続いての暗い話題は避けたいと、頭では考えながらも明るい話題を書くこと自体どこか白々しいというか、空々しい感じがします。

桜まつりの中止に始まり、沼田市の行事やイベントが次々と中止になり、ついには沼田まつりや花火大会など夏の風物詩と言えるような大イベントも中止となりました。中止が決まった当初は「あ、やっぱり中止か」と思っただけでしたが、お雛子の練習が聞かえてこない、関連する会議もない、準備もチラシも何もなし、と「無い」ことづくしを体験してくると、改めて「無い」ことを実感します。

「あいまいな喪失」という考え方が心理療法の世界にあることを最近知りました。具体的に、現実的に、失う、亡くすることも認識できません、何となく感じる喪失を指します。アメリカの心理療法家である、ポール・ボリス教授が提唱している概念で、ニューヨーク貿易センタービルでのテロのご遺族へのメンタルケアで注目を集めました。国内では東日本大震災で注目されるようになったようです。

「あいまいな喪失」には「さよならのない別れ」と「別れのないさよなら」の2種類があります。「さよなら」は気持ちの整理であり、「別れ」は現実的な別離となります。震災で例えるなら、原発事故による避難指示で住み慣れた街を離れて暮らしている方を「さよならのない別れ」、避難指示が解除され、住み慣れた街に戻ってきたものの、周りの人々や環境が一変して、何となく喪失感を感じている方を「別れのないさよなら」と呼びます。ご家族が行方不明で戻らないままの方もここに含まれます。

何となく違和感を憶える、何となく寂しい、イライラする、やる気が出ない、コロナ禍の生活でそう感じる方が増えているそうです。多かれ少なかれ、この「あいまいな喪失」を感じる方が増えている表れではないでしょうか？ コロナ以前、何気なく過ごしてきた当たり前の生活が、いつの間にか失われてしまい、「別れのないさよなら」を多くの方が体験しているのかも知れません。

医療従事者の方々や、九州などで豪雨災害に遭われた方々など、もと大変な状況にある人たちが沢山いるのに、そんな弱気でどうする？と責める自分を、この概念を知り、もう少しおまかせに構えてもいいのかな、と思えるようになりました。

みんなも大変、自分も大変、まあ、そんなに頑張っていると、辛う方が、これから長く続くであろうwithコロナの生活をうまく過ごしていけるような気がします。

夏のでんき代は ENEOS におまかせ!

基本料金 3ヶ月分 ¥0